

令和 8 年度 (2026 年度)

金沢大学法科大学院

入学試験問題

商 法

A 日程入試

(注意)

1. 問題冊子 (表紙を含む) は 2 枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

## 令和8年度（2026年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	商	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

### 問題1（15点）

次の事例を読み、[問い]に答えなさい。

1. 株式会社である甲社は、取締役会設置会社かつ監査役設置会社であり、取締役にはA、B、Cが（Aが代表取締役）、監査役にはDが就任している。
2. ある日、Aが適法に招集した取締役会において、Aが打ち出した巨額の設備投資を要する新事業への参入計画をめぐり、DとAとの意見が対立した。Aの物言いに立腹したDは、「今後、取締役会には一切出席しない」と発言し、退席した。
3. Aは次回取締役会（以下、「本件取締役会」という）を招集する際、Dの上記発言を受けて、取締役会招集通知をDだけには発送しなかった。
4. 本件取締役会は、D欠席のまま開催され、予定議案はA、B、C全員の賛成によりすべて可決された（以下、「本件決議」という）。

[問い]

本件決議の効力について論じなさい。

### 問題2（10点）

特別の利害関係を有する者が議決権を行使したことによって、著しく不当な株主総会決議がなされた場合の条項号を正確に指摘したうえで、その典型例と「特別の利害関係を有する者」の意義を述べなさい。